



## どうしてお正月しょうがつに門松かどまつをかざるの

### 年神としがみ（としがみ）さまがやってきて、門松かどまつにとまるから

年末ねんまつになると、家いえのおそうじをしたり、玄関先げんかんさきにかざる門松かどまつを買かってきたりして、お正月しょうがつをむかえる準備じゅんびをしますね。お正月しょうがつになると、どの家の玄関先いえ げんかんさきにも、門松かどまつがかざられています。家の門口いえ かどぐちにかざるこの松まつを、門松かどまつといいます。

お正月しょうがつは、1年ねんの初めはじにあたります。だれでも、幸せしあわな1年ねんをむかえたいと願ねがいますね。日本しやうがつのお正月しょうがつには、年としの初めはじに、年神としがみさまがそれぞれの家いえをおとずれて、幸せしあわを持ってきてくれる、という信仰しんこうがあるのです。そのため、人々ひとびとは、門もんの前まえにかざりたを立てて、「年神としがみさま」をおむかえするのです。

「年神としがみさま」とは、五穀ごこく（米こめ・麦むぎ・豆まめ・アワ・キビまたはヒエ）の神かみさまのことです。

日本かみには、神かみさまはある決められた場所きに現あらわれる、という考かんがえ方かたがあります。昔むかしは、サカキなどの常緑樹じょうりよくじゆがあれば、神かみさまが来きてくださると思おもわれていましたが、いつからか、松まつが中心ちゆうしんになり、門松かどまつがかざられるようになりまし。人々ひとびとは、松まつが年神としがみさまの木きだと信しんじるようになったのです。

門松かどまつは、神かみさまがおりてきて、とまるころなのです。

### おせち料理りょうりは、もともと神かみさまへの供そなえ物もの

お正月しょうがつになると、重箱じゅうばこにいろいろな料理りょうりが入はいった、おせち料理りょうりを食たべますね。このおせち料理りょうりは、もともとは、年神としがみさまへの供そなえ物ものだったのです。家族かぞくそろって、年神としがみさまといっしょに食たべるのが、正ただしい食たべ方かたなのです。（監修・田代 脩）

